

コミュニティ(人材の発掘、コミュニティ育成について)

～コミュニティ醸成関連で皆さまにお願い～

将来ビジョン検討事務局の取組み

0

コミュニティ（人材の発掘、コミュニティ育成について）

青葉通沿道のオフィスワーカー等との意見交換、人材の発掘
(通称：青葉通ざっくばらんミーティング)

再掲

[概要]

- 社会実験の結果を伝えながら率直なコメントや感じていることをカジュアルに話す会である。
- 開催中は名前、肩書き、所属など伏せる。利害関係者であることなどは知らずに、一市民としての意見を話す会である。
- 青葉通沿道で働く社会人や、青葉通を訪れる方を対象とした、10名未満で開催する会である。

[目的]

VISIONの実現のために存在するコミュニティを育てる

青葉通将来ビジョンを実現させるプレイヤーの発掘のため、新たな担い手候補が参画しやすいまちづくりの第一歩としての場を提供し、中長期的にコミュニティを形成していくことを目的とする。

1

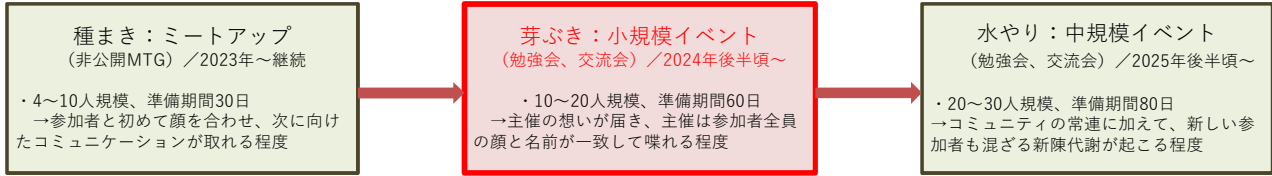
コミュニティ（人材の発掘、コミュニティ育成について）

青葉通沿道のオフィスワーカー等との意見交換、人材の発掘
（通称：青葉通ざっくばらんミーティング）

再掲

[コミュニティを育てていくSTEP]

2024年度はここ↓



■一般向け非公開イベント：青葉通ざっくばらんトーク開催

・年3回実施。通常は定員10名程度の規模で継続的に開催/3回のうち1回は定員を20名程度に拡大し開催

■その他コミュニティ醸成のためのイベント開催

・過去の参加者をつなげる属性MIXフィールドワーク「お掃除大作戦」2024年9月開催予定
・事務局組成の参考とするオンライン勉強会1回程度 ※事務局メンバー中心だが一般も紹介により参加OK

■全体会の運営

・行政/委託者/クリエイティブチーム/コミュニティチームを混ぜた会議各回の議事集約や当日の進行を行い、会議録を作成

■コミュニティガイドラインおよびオンラインプラットフォームの検討

・コミュニティ醸成や組織運営のためのノウハウを言語化したガイドラインの骨子を作成（行政とのディスカッション4回）
・過去の参加者向けに仮のコミュニケーションツールとしてFacebookグループを立ち上げ運用開始。

2

コミュニティ（人材の発掘、コミュニティ育成について）

青葉通沿道のオフィスワーカー等との意見交換、人材の発掘
（通称：青葉通ざっくばらんミーティング）

追記

[開催スケジュール(予定含む)]

2023年度 開催日	参加対象者	参加したメンバー
プレ開催： 9/27(水) (本番開催に向けた予行練習)	社会実験に参加した方	ゲスト:2名 (大学生、経営者)
第1回： 11/29(水)	青葉通沿道で働く若い世代	ゲスト:6名 ・社会人6名 ・県外から移住1～5年目
第2回： 2/21(水)	子育て中の方	ゲスト:7名 ・1歳～8歳の子育て中の方
スピノフ： 3/6(水)	青葉通沿道で働く子育て中の方①	ゲスト:3名
スピノフ： 3/13(水)	青葉通沿道で働く子育て中の方②	ゲスト:3名
2024年度 開催日	参加対象者	参加したメンバー
スピノフ： 5/25(土)	「居心地の良いまちってなんだろう」参加者 (トークイベント後 同会場にて開催)	ゲスト:8名 推定20～40代くらいの社会人で、他県からの来場者も
第3回： 7/4(木)	学生	ゲスト:9名
第4回： 9/14(土) フィールドワーク「お掃除大作戦」	これまでの事務局主催イベント参加者	ゲスト:6名

※24年度実施予定の4回のうち、3回までが無事に終了。さまざまな声が集まりました。

3

コミュニティ（人材の発掘、コミュニティ育成について）

青葉通沿道のオフィスワーカー等との意見交換、人材の発掘
（通称：青葉通ざっくばらんミーティング）

新規

【協議会委員の皆さまにお願い】

今年度ラストの会は、
ぜひ皆さまにもご参加いただきたいです！

【ご参加いただきたい理由】

- ・せっかく集まったさまざまな属性の意見を
ニュアンスも含めて共有したい
- ・協議会メンバーと過去のイベント参加者
（平日日中のため子育て世代を想定）を混ぜて議論してみたい
- ・25年度にどんな動きを取ると、より良いコミュニティが
育ちそうか、肩書が見えない関係でざっくばらんに話したい



ざっくばらんミーティング

コミュニティールール

- ①記録用に録音・撮影しておりますが、データをそのまま公開しません。安心して話しましょう。
※グラフィックレコードの作成に使用いたします。
- ②当日だけの呼び名をつけましょう！
会社・学校・所属・役職・肩書きなど関係なくお話しできます。
※名刺交換などはミーティング後に
- ③よく聴き、よく反応してみましょう！
話す、手を叩く、声を出すなどでリアクションしましょう。
「共感ふだ」使って反応することも楽しみましょう！

→委員の皆さまご所属の会社からメンバーを選んでいただく形でも構いません。
参加できるかどうか、別紙にてアンケートにお答えください。3つの日程候補をお示ししております。

4

コミュニティ(人材の発掘、コミュニティ育成について)

再掲

VISIONの実現のために存在するコミュニティを育てる

- ・新規の担い手を少しずつ増やしていく
- ・関心がある層をつなぎとめる
- ・担い手を応援する(ための道具を整える)

↑ 上記を目指すために……

24年度のショートゴールとして、コミュニティガイドラインの骨子内製を目指す。

2024年度は行政と意見交換しながら、コミュニティ醸成や組織運営のための

ノウハウを言語化したガイドラインの骨子内製をショートゴールとする。

都度、協議会でも共有しながら骨子案をまとめていく方向をイメージしている。

※ガイドラインの骨子は、将来的にはデザイナーを入れた製本版にまとめる想定。

5